

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	リハビリ児童デイサービス はっぴークローバー2		公表日		令和 8年 2月 25日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	プログラムに合わせて机などを移動させ、安全に活動できるスペースを確保している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	人員配置基準に定められている配置より多く配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	目的ごとに部屋を分け、自分たちでルールやマナーを考えて活動出来るようにし、特性に応じた環境を作っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	毎日掃除をし、清潔を維持している。また、子どもたちの年齢や発達、プログラムに応じて環境を整えている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	状況に合わせてカーテンで仕切ったり扉を閉められる部屋を使えるようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	0	日々の申し送りや職員会議を通して、利用児の目標や現状の共有、振り返りを行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	保護者向け評価表は使用していないが、面談時に保護者の意向を必ず伺い、その内容を職員間で共有し業務改善に繋げている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	定期的なミーティングだけでなく、普段の会話の中からも頻繁に意見交換を行い業務改善に活かしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	8	第三者評価は実施していない。	外部からの意見は積極的に取り入れている。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	職員会議の際等に、研修の時間も確保している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	毎月支援プログラムを作成し、各家庭に配布している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	日々の活動や会話の中で子どもたちのニーズや課題を把握し、保護者とも面談を通して双方の意向を踏まえて計画書を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	支援に関わる職員の意見も聞き取りながら支援方法、プログラムを考え計画書を作成している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	支援計画目標を一覧にして職員間で共有している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	送迎後にその日の振り返りを行い、活動記録に残している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	事業所の様子を職員に聞き取ったり、面談の際に学校や家庭での様子を聞き取り、それらを踏まえ支援内容を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	役職や立場に関わらず、様々な職員からアイデアを募ったうえで、会議でプログラム選定を行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	月ごとのプログラムを作成する際には前年のプログラムを確認しながら、利用児童の成長や希望も鑑み、より適切な支援を行えるようプログラムを設定している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	子どもの特性や支援のねらい等に合わせて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ計画を作成し実施している。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	毎日申し送りを行い、支援中も声を掛け合い柔軟に連携して対応している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	送迎後にその日の振り返りを行い、特記事項等は申し送りノートや活動記録等を活用し共有するようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	毎日活動記録を作成し、支援の検証、改善に繋げている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	定期的にモニタリングを行い、計画を見直している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	8	0	4つの基本活動を組み合わせて支援している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	声掛けの工夫や物品の選択肢を作る等して環境を整え、自己決定できる支援を行っている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	児童発達支援管理責任者が会議に出席している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	必要に応じて関係機関を連携を取って支援する体制を取っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	担任教諭等と電話や送迎時等に情報共有や各種連絡調整を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	0	フェイスシートや計画書等を通して情報共有を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	2	対象者は現在の所いないが、情報を提供する体制を整えている。	対象者が出た際は、情報を提供できるように継続して体制を整えている。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	0	各方面からの助言を受け入れている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8	0	近所の公園で地域のこどもと交流する機会がある。	交流する機会を今後も検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8	0	参加できる時に参加している。	
保護者への説明等	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	送迎時や連絡帳、電話等で状況を伝えあっている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1	希望される方が少なく、個々に必要な情報を提供している。	今後も慎重に検討していく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	契約時に書類を用いて説明している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	子どもと家族の意向を確認する機会を定期的に設けている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0	支援内容を説明し、同意を得ている。	
保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	保護者の要望や子どもの状況に合わせて、面談や電話・メールでの相談を行い助言、支援を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	0	8	きょうだい同士で交流する機会はあるが、父母会等においては希望される方が少なく、個々に必要な情報を提供している。	今後も状況を見ながら慎重に検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	苦情窓口を設置し、対応している。	

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	0	ホームページに活動概要等を掲載し発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	十分留意し取り扱っている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	各家庭の状況に合わせて、より伝わりやすい連絡手段を選び対応している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	1	近隣の地域住民に配慮しながら行っている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	定期的に訓練を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	BCPを策定し、定期的に訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	0	必ず利用前に状況を確認し、職員間で共有している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	事前に確認し、対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	安全計画に基づいて支援を行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	モニタリング等の面談時に行っている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	ヒヤリハット報告書を共有し、再発防止策を周知している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	研修機会を確保し、対応している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0	定められた手順に則り対応している。		